

標 題	稲WCS・稲SGS研修会を開催
-----	-----------------

(ダイジェスト)

安来地区畜産クラスター協議会では、平成28年度に稲WCS・SGSの栽培から給与までの実証試験を行いました。その結果をリーフレットとしてとりまとめ、専用品種との違いや品質、畜産農家での給与方法等についての研修会を行いました。

安来地域では、畜産農家や集落営農法人、コントラクター組織等で構成する安来地区畜産クラスター協議会を設立し、畜産振興に取り組んでいます。平成28年度には、自給飼料拡大の目的として、稲WCS・SGSの栽培から給与までの実証試験を行いました。

このたび、実証試験が終了したので、実証結果等を畜産農家へ周知する研修会を行いました。

研修会では、稲WCSの実証結果として、専用品種「たちすずか」と食用品種「きぬむすめ」を比較し、収量や収穫期等の違いを紹介しました。また、稲WCSの品質・栄養分の分析結果を踏まえ、品質に合わせた具体的な給与量の目安や給与方法の注意点等についても紹介しました。

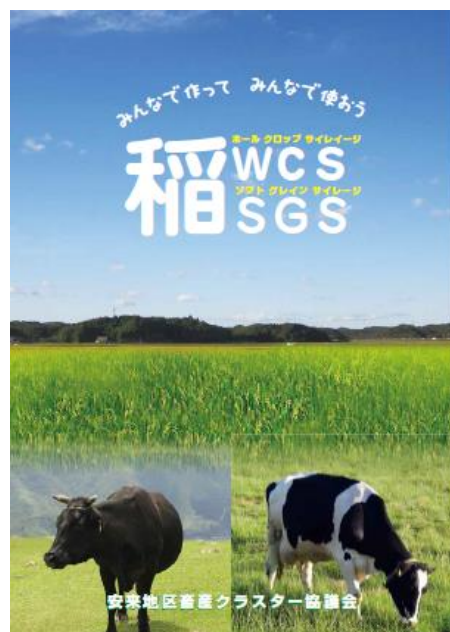
稲SGSについては、稲WCSとの違いや分析結果による飼料特性や具体的な給与方法の提示等を行いました。また、稲SGSの製造実証と併せて保存試験等を実施しており、その結果も報告しました。

研修会では、実際に稲WCSを栽培している方も参加され、収穫方法や給与方法等具体的な質問も多く、有意義な研修会となりました。

安来地区畜産クラスター協議会では、今回の実証結果等をもとに稲WCS・SGSについてのリーフレットを作成しました。今後は、このリーフレットも活用しながら、安来地域の畜産農家へ幅広く周知していくとともに自給飼料の利用推進を図っていきます。



研修会の様子



リーフレット